

(1) 相談・支援の充実

①相談受理件数(件数)

	来所・ 訪問相談	電話相談	メール 相談
H27	67	160	33
H28	107	162	33
前年比	+40	+2	±0

②心の教育センターに相談者をつないだ相手と内訳(件数)

	学校 教員	学校 SC	学校 SSW	医療	教育	福祉	各種 広報	その他	合計
H27	29	9	0	0	5	3	6	15	67
H28	44	21	5	0	6	3	14	14	107
前年比	+15	+12	+5	0	+1	0	+8	-1	+40

- ・心の教育センターの相談支援体制について、様々な機会を通して周知した成果が表れており、相談件数は増加している。
- ・来所が難しいケースは訪問支援を行い、学校等と連携しながら教員やSSWと一緒に訪問するなどの支援を進めている。
- ・現在のところ、関係機関と連携が必要となる事案はない。(学校との連携が中心)

③関係機関との連絡協議会の開催

A 教育相談関係機関連絡協議会(9団体)[年間2回]

- ・第1回教育相談関係機関連絡協議会を、5月2日に実施。関係機関の業務内容や連携内容を共有。

B 教育支援センター連絡協議会(21機関と参加希望の市町村担当者)[年間3回]…今後実施予定。

④保護者(家庭)支援

- ・保護者交流会(月1回程度)、「子育て講演会」(年2回)…今後実施予定。

⑤相談者の希望に基づく発達検査の実施

- ・検査結果等をもとに支援方法について家庭や学校に助言…該当事例なし。

⑥指導主事・相談員の資質向上

- ・所内ケース会議等での事例に対するスーパーバイズを実施。
- ・所内に専門家がいることにより、事例に対するより正確な見立てや、効果的な支援について助言できる状況。

(2) 教職員研修の充実

①校内研修

- ・学校からの依頼による研修参加回数…32回

(3) 学校支援の充実

①緊急事案等への対応(SCスーパーバイザー、SSWと指導主事等を派遣)

- ・4月以降12事例に対応。
- ・個別ケース会議の開催や、参加により、関係機関と連携を図る。支援方針に対する助言(医療機関への接続、事例に対する見立て、対応の仕方等)や当該学校に配置されているSCへの助言等を実施。

②学校配置SC、SSWの資質向上

- ・学校配置SC、SSWが、児童生徒、保護者、教職員から受けた相談等に対するスーパーバイザーよりの助言…本年度30件
- ・本年度に入りSC、SSWからの相談が増加(昨年度0件)。助言を受けることで、SCやSSWが自信をもって相談に対応。

③学校(支援センター)等への訪問支援や連携

- ・校内支援会への派遣や、教職員が来所しての支援会、情報交換の実施…38件(前年比28件増)
- ・昨年より増加し、学校との連携が促進。

(4) 来所者への配慮

①来所者にやさしい環境整備【相談室(1)、プレイルーム(3)、電話相談室(1)、所長室(1)、職員室(2)、玄関ホール(1)】

- ・相談が多い日や母子分離面接等により相談室が不足するときは、教育センター分館を使用。
- ・軽い運動や交流活動、プレイセラピー等は教育センター分館体育館も使用。体育館は研修会等により使用できない場合あり。